



**DSK**

株式会社 電算システム

# 株主の皆さまへ

第47期 中間報告書

第2四半期連結累計期間  
平成25年1月1日～平成25年6月30日



小瀬鵜飼(岐阜県・関市)

東証第一部 / 名証第一部 3630

## Challenge Innovation Speed

### Contents

株主の皆さまへ／配当について	02
<b>特集</b> 豊かな未来を切り拓く DSKの事業紹介	03
事業別の業績	
平成25年12月期 第2四半期(累計)の業績について	08
連結財務ハイライト／第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)	
Go! Go! DSK	11
Vol.5 全国初のデジタル教科書アプリを開発	
シリーズ・お客さまとともに Vol.9	12
会社概要及び株式情報	13
DSK TOPICS	14
DSK ラウンジ	裏表紙

Gifu

DSK

### 表紙について

#### 「小瀬鵜飼(おぜうかい)」



岐阜県関市小瀬の長良川で、毎年行われる小瀬鵜飼。辺り一面を山で囲まれた中で行われ、照明はなく明かりはかがり火やろうそくのみ。開始前の準備風景から片付けまでの見学が可能で、鵜匠の操る鵜船と観光客の乗る屋形船は一緒に下り、間近で鵜匠の手綱さばきを鑑賞することができます。鵜飼船、屋形船ともに手漕ぎ船でたいへん古式ゆかしい風景が色濃く残り、小規模ながらも人気の高い鵜飼漁です。

(写真: 岐阜新聞社提供)

## 株主の皆さまへ

当第2四半期連結累計期間において、前期比、計画比ともに上回り順調に推移しております。

代表取締役社長執行役員COO  
(最高執行責任者)

たなか やすのり  
田中 靖哲



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

第47期第2四半期連結累計期間の決算の概要がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

当社の2つの主力事業は継続的に成長を続けており、両セグメントにおいて増収増益となりました。まず、情報サービス事業では郵政関連をはじめとした情報処理サービスでのビジネスアウトソーシング業務の拡大、Google関連サービスを中心としたストックビジネスが業績の向上を支えました。また、クラウドサービスの展開の一つとなる新データセンターの建設工事も完成に向け着々と進んでおり、基盤強化にも注力しております。

次に、収納代行サービス事業では、主力のコンビニ収納

代行サービスの処理件数が堅調な伸びを示している一方で、電子決済サービスの強化や決済インフラの拡充にも努めました。さらに、新規事業の国際送金サービスは、マーケティング活動の効果が現れており、下期にはさらなる成長を追求してまいります。

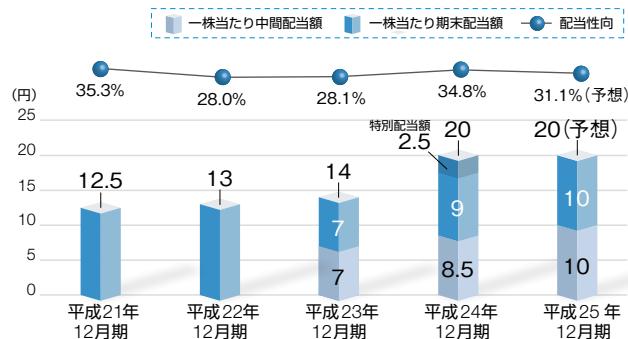
これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高121億28百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益が5億27百万円(前年同期比51.7%増)、経常利益が5億20百万円(前年同期比44.1%増)となりました。

引き続き期首目標の達成に向けて鋭意努力してまいります。なお、当期は株主優待制度の再開及び普通配当2.5円増と、積極的な株主還元を継続してまいります。引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、平成25年12月期は中間10円、期末10円の年間20円を予定しております。

なお、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割いたしました。配当金額につきましては、株式分割考慮後の数値を記載しております。



特集 豊かな未来を切り拓く

# DSKの事業紹介

## 情報サービス事業

企業活動や日常生活を効率化するシステム開発やサービスを提供

昭和42年に民間企業の情報処理受託業務からスタートし、以来、独立系総合情報サービス事業として、民間企業、自治体向け2,500社以上のお客様に情報処理サービス、システム開発、システムインテグレーションなどを提供し、安定収益をあげております。

運用・管理等のノウハウを生かし、お預かりした重要な情報資産にさらに付加価値を加えて提供しております。創業以来の核となるサービスです。

### 情報処理サービス

データ入力から  
集積・分析・加工

- 郵政関連のBPO事業
  - データセンター事業
- ▶ 本誌P04でもご紹介いたします



### システムソリューション

システム設計・開発

岐阜本社と東京本社を中心に、名古屋支社・大阪支社にも開発拠点を置き、高品質でコストパフォーマンスの高いシステムを提供しております。

- クラウドサービスの対応
- タブレット端末やモバイル端末でのアプリケーション開発



## 4つのサービスを ワンストップで提供

### システムインテグレーション

ハード環境含めた  
システム構築

お客様の業務内容や抱える課題を分析し、システムの構築から機器の導入・ネットワーク構築・保守に至るトータルソリューションのご提案をしています。

- 中古車オートオークション
- Google関連ビジネスシステム



### 商品販売

自社開発ソフトウェア  
周辺機器  
サプライ用品の販売

アプリケーションソフトやシステム機器・OA機器及びサプライ用品等の販売をしています。

▶ 本誌P12でもご紹介いたします

## 新データセンター(東濃データセンター) 11月開設に向けて

情報サービス事業の基盤の一つであるデータセンター事業は、クラウドサービスの展開等においても重要な役割を果たします。11月に開設する新データセンターの特徴と今後の展開について、IDC事業部長に聞いてみました。



執行役員 IDソリューション事業本部  
IDC事業部長 八島健太郎

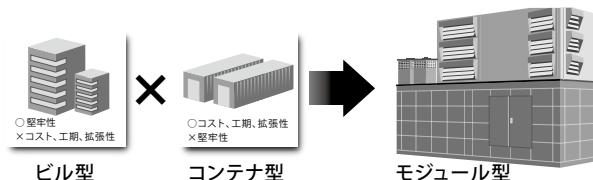
**Q** 東濃データセンターの特徴について教えてください。

**A** 東濃データセンターのアピールポイントは幾つかありますが、その中でも立地環境とモジュール型データセンターによる拡張性の高さがあります。まず立地環境についてですが、地盤、自然災害発生リスク、交通網の整備状況などを総合的に検討し、データセンターに求められる環境諸条件を満たしている、岐阜県土岐市を選定いたしました。次に、モジュール型データセンターについてですが、これはビル型の安全性とコンテナ型のエネルギー効率性の2つのメリットを併せ持った「モジュール型」になっています。

**Q** 今後の展望について教えてください。

**A** 情報サービスの事業環境は、顧客からのIT投資の抑制要望は避けられない時代が来ております。従来の導入～開発業務に加え、当社のプライベートホスティングサービスの提供を通じ、その要望にスピーディーに対応していくことができます。さらに当社メインのパブリッククラウド

このモジュール型の採用により、一つ一つのデータセンターがコンパクトになっているため、需要に合わせた増設、及び投資が可能となり確実性の高い投資が図れます。まずは第1期の開設として、5つのモジュール建設を予定しております。また、一つのモジュールにサーバーなどのIT機器やその冷却装置が最大限の稼働率となるよう設計されているので、エネルギーの効率が良く、省電力で運用することができます。



サービスであるGoogle関連サービス、独自のクラウドサービスの活用による新規顧客の開拓等、サービスの導入からサポート・運用までのワンストップサービスを最新の施設で提供できるデータセンターを目指します。

### 新データセンター 「東濃データセンター(T-IDC)」

(平成25年11月開設予定)



変電所から送られた電力を負荷設備に分配し供給します。2箇所の変電所と繋がっています。



データセンターを運営・管轄する建物です。



受電した電力をいったん蓄え、コンピュータに安定的に供給します。停電時も、しばらく供給を続けます。



第1期の開設として、5つのモジュール建設を予定しています。

サーバー棟(増設予定)

受電設備

管理棟

UPS棟

モジュールDC

非常用発電機

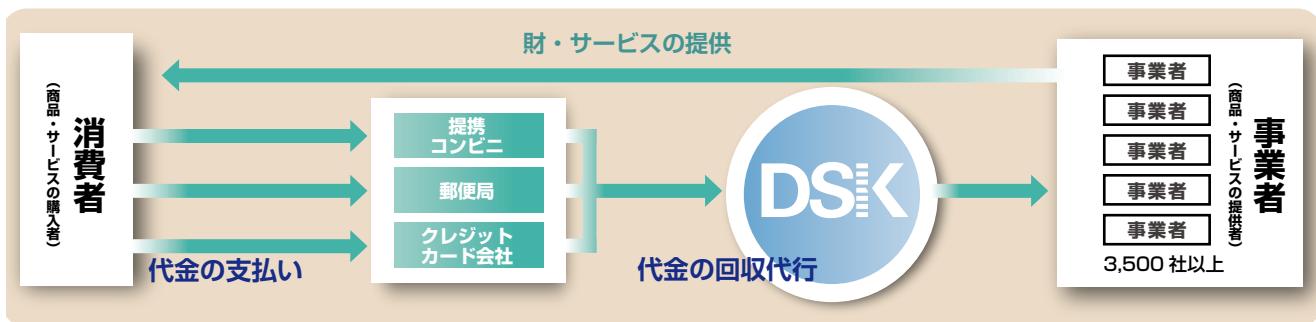
停電時でも設備を止めないための発電機です。24時間分の燃料を備えています。

## 収納代行サービス事業

幅広いネットワークと確かな技術力、高い信用力が求められる独自性の高いサービスを提供

IT企業で初めてサービスを開始したコンビニエンスストアでの収納代行サービスを中心に、クレジット決済、電子マネー対応まで、「総合決済サービスプロバイダー」として決済に関する幅広いサービスを提供しております。

### 収納代行サービスの仕組み



05

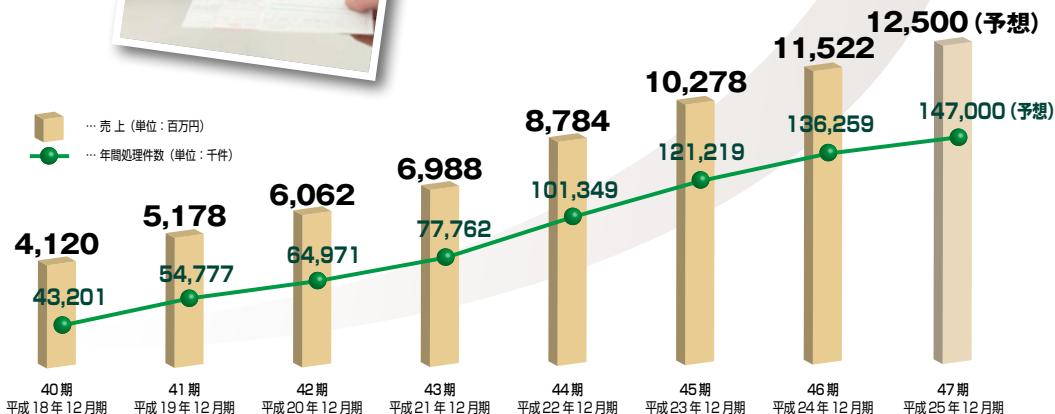
### 年々拡大する取引実績



売上高: 毎年約10億円増加  
収納代行件数: 毎日約372,000人の方にご利用いただいております(平成24年12月時点)

口座振替サービスを発展させ、平成9年に業界に先駆けて、コンビニ収納代行サービスを開始

コンビニチェーン17社及びゆうちょ銀行と契約し、全国70,000箇所以上の窓口で収納代行サービスを提供





## INTERVIEW インタビュー

### 今後の収納代行サービス事業の展望について

コンビニで払えるという手軽さが消費者に受け入れられており、取引実績は年々増加を続けております。

総合決済サービスプロバイダーとして「ECで生活を便利に豊かに」を掲げている電算システム。

今後の収納代行サービスの事業の展望について、ECソリューション事業本部の事業本部長に聞いてみました。

常務取締役執行役員

ECソリューション事業本部長 小林領司

**Q** 「総合決済サービスプロバイダー」とは具体的にどんなことを目指しているのですか？

**A** 通信販売によるショッピングが消費者に浸透し、消費者のライフスタイルの変化も伴って決済の方法は多様化が望まれてきています。このような中で当社の掲げる「総合決済サービスプロバイダー」は、コンビニ収納代行サービス以外にも、クレジットカード決済、ペーパーレス決済（電子マネーやネットバンクでの決済）や、ゆうちょ振替、モバイル決済（携帯電話から払込み）、口座振替など多様な決済手段を網羅することはもちろん、通販事業者の請求書の作成代行や返金が発生したときの事務代行など、決済にまつわるサービス全般でお役に立ちたいと考えています。さらには、収納代行できる窓口をコンビニ店頭以外でも提供する収納代行窓口業務サービスなども揃えており、「決済のことなら電算システムにお任せください」を目指しています。

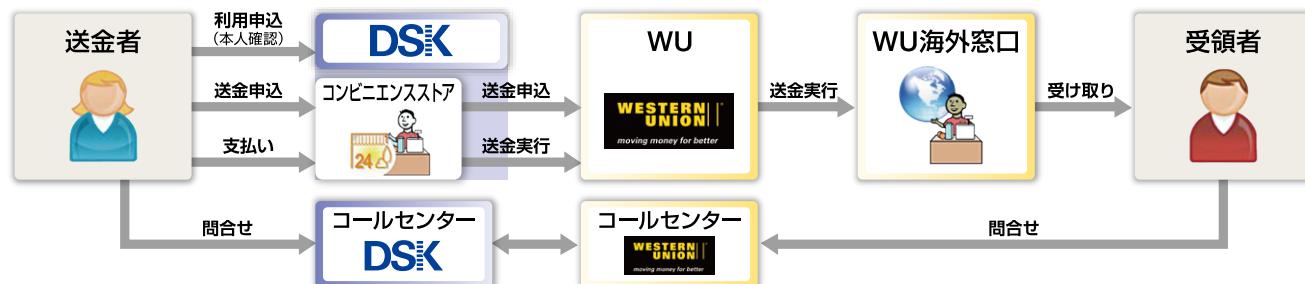


**Q** 新しい取り組みについて教えてください。

**A** 平成24年2月にコンビニネットワークを利用した「コンビニ・ウエスタンユニオン国際送金サービス」を開始しています。開始した当初は、利用者が主に外国人であるため、マーケティングに苦労しましたが、今では利用

手続きの簡素化や、コールセンターの体制を充実し、利用者も増えてきています。なんといっても海外の200以上の国と地域(48万箇所以上)にコンビニから送金できるという手軽さと、銀行窓口よりはるかに安い手数料が利用者に評価されているのだと思います。

#### 国際送金サービスの流れ



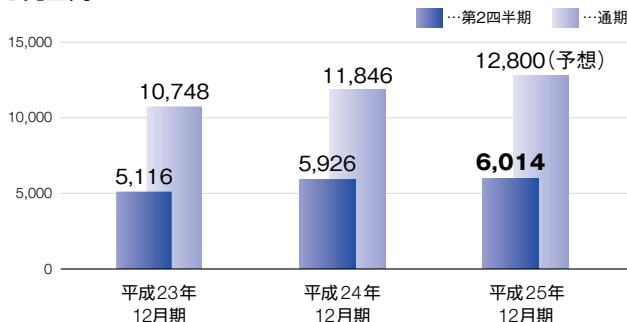
## 事業別の業績

単位：百万円、単位未満切り捨て

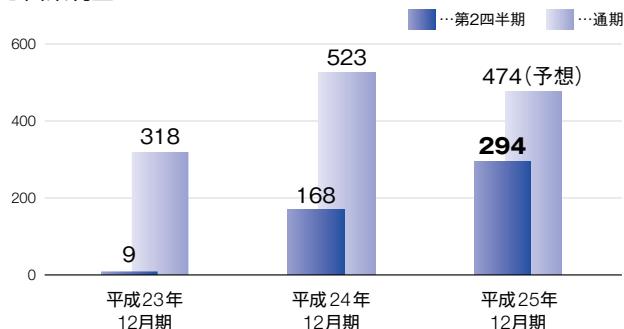
### 情報サービス事業

情報処理サービスが順調に推移  
システムインテグレーションの成長により売上が伸長

#### 売上高



#### 営業利益

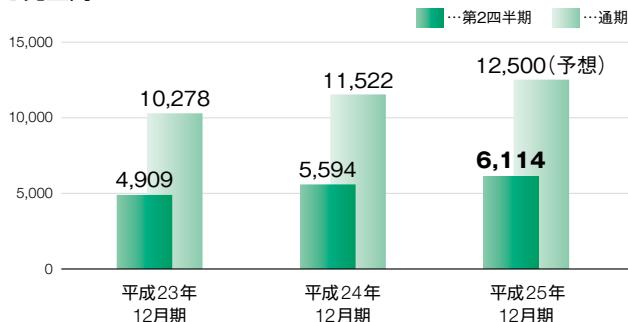


郵便局関連の情報処理サービス、ガソリンスタンド向け処理などにより売上が順調に推移し、また、システムインテグレーション・商品販売においては、オートオークション業向けシステム案件、Google Appsなどのクラウド関連案件、モバイルアプリ開発案件、医療機関向けシステム案件などにより、売上高は60億14百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

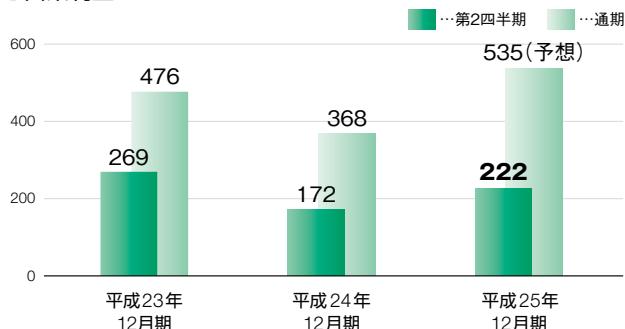
### 収納代行サービス事業

新規取引先の獲得が順調に推移するとともに  
既存取引先の収納件数が増加

#### 売上高



#### 営業利益



新規取引先の獲得が順調に推移するとともに、通信販売業やネットショップ、地方自治体向け公金収納などの既存取引先における収納件数が増加いたしました。またスーパーマーケットや小規模コンビニエンスストア向け収納窓口サービスの導入店舗数の大幅な増加により、売上高は61億14百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

# 平成25年12月期 第2四半期(累計)の業績について

当社グループの平成25年12月期(第47期)

第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)における  
業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

## 全体業績

当第2四半期連結累計期間における売上高は  
121億28百万円(前年同期比5.3%増)、利益  
においては、営業利益が5億27百万円(前年同

期比51.7%増)、経常利益が5億20百万円(前  
年同期比44.1%増)、四半期純利益が2億95  
百万円(前年同期比51.7%増)となりました。

Point

1

### 前年比で増収増益を達成。順調な推移状況となりました。

計画に対しても、売上、利益ともに順調に推移しました。特に利益面で顕著に伸びており、営業利益、経常利益は計画比3割以上の成長を達成いたしました。

Point

2

### 総資産は、前連結会計年度末と比較して40億10百万円減少し、 200億1百万円となりました。

これは主に、建設仮勘定などにより、その他有形固定資産が5億10百万円増加、また、現金及び預金が2億42百万円増加したものの、収納代行サービス事業に係る預り金の入出金タイミングの影響を受けて金銭の信託が44億51百万円減少、また、受取手形及び売掛金が1億56百万円減少したことによるものです。

Point

3

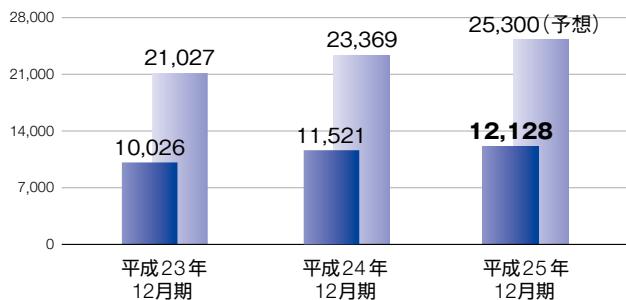
### 通期の業績は、売上高250億円超、利益面では10億円超を目指します。

将来の成長分野に経営資源や要員の傾斜的な投入を図り、事業力の強化と企業収益の拡大に努めてまいります。これにより、平成25年12月期の連結業績は、売上高253億円(前期比8.3%増)、営業利益10億10百万円(前期比11.8%増)、経常利益10億10百万円(前期比8.8%増)、当期純利益5億78百万円(前期比11.8%増)を見込んでおります。

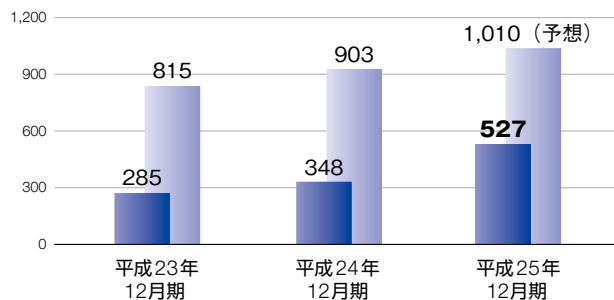
## 連結財務ハイライト 単位: 百万円、単位未満切り捨て

■ …第2四半期 ■ …通期

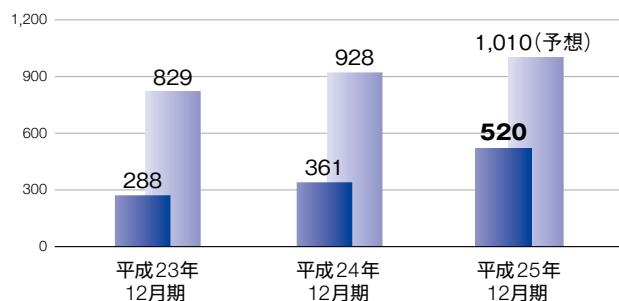
### 売上高



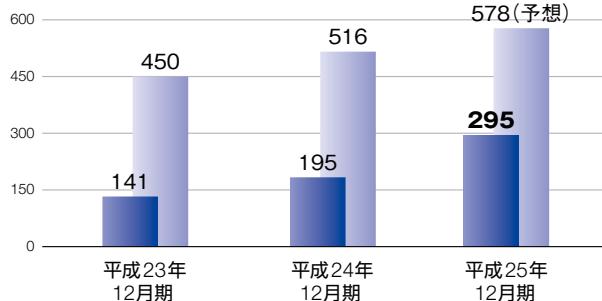
### 営業利益



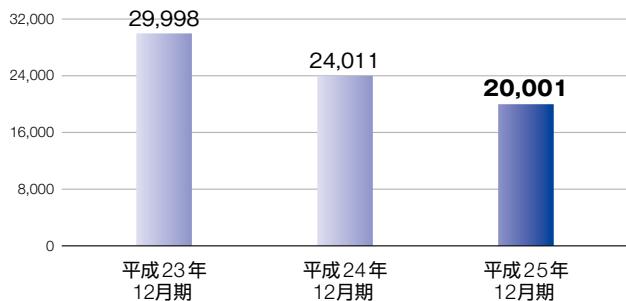
### 経常利益



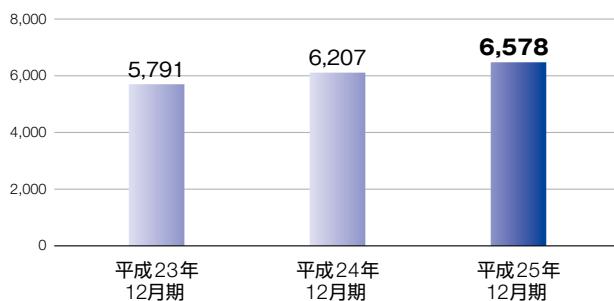
### 四半期純利益 / 当期純利益



### 総資産



### 純資産



## 第2四半期(累計)連結財務諸表(要約) 単位:百万円、単位未満切り捨て

## 四半期連結貸借対照表

	前期末 平成24年12月31日現在	当第2四半期 平成25年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	21,126	<b>16,735</b>
固定資産	2,884	<b>3,265</b>
有形固定資産	1,586	<b>2,087</b>
無形固定資産	516	<b>415</b>
投資その他の資産	781	<b>762</b>
資産合計	24,011	<b>20,001</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	17,506	<b>13,096</b>
固定負債	296	<b>326</b>
負債合計	17,803	<b>13,422</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,096	<b>6,406</b>
資本金	998	<b>1,056</b>
資本剰余金	697	<b>756</b>
利益剰余金	4,484	<b>4,677</b>
自己株式	△84	<b>△84</b>
その他の包括利益累計額	28	<b>74</b>
少数株主持分	83	<b>96</b>
純資産合計	6,207	<b>6,578</b>
負債純資産合計	24,011	<b>20,001</b>

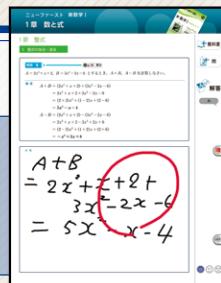
## 四半期連結損益計算書

	前第2四半期 平成24年1月1日から 平成24年6月30日まで	当第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
売上高	11,521	<b>12,128</b>
売上原価	9,633	<b>10,045</b>
売上総利益	1,888	<b>2,083</b>
販売費及び一般管理費	1,540	<b>1,556</b>
営業利益	348	<b>527</b>
営業外収益	15	<b>9</b>
営業外費用	1	<b>17</b>
経常利益	361	<b>520</b>
特別損失	5	<b>-</b>
税金等調整前四半期純利益	355	<b>520</b>
法人税、住民税及び事業税	291	<b>343</b>
法人税等調整額	△132	<b>△132</b>
少数株主利益	1	<b>13</b>
四半期純利益	195	<b>295</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 平成24年1月1日から 平成24年6月30日まで	当第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	523	<b>835</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355	<b>△565</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104	<b>48</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68	<b>311</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,611	<b>1,966</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,679	<b>2,277</b>

## Vol.5 全国初の「デジタル教科書アプリ」を開発



当社は東京書籍株式会社様と高等学校向け文部科学省検定済み教科書をデジタル化いたしました。iPad上で動作する高等学校向けデジタル教科書では全国初となります。

このデジタル教科書は感覚的な操作による画面の拡大・縮小、ページ送りはもちろん、関連する問題集、教材映像等のデジタルコンテンツが搭載されています。さらにはアンダーラインやメモ書き込みもできるなど、iPadならではの機能を積極的に活用しています。

### Q1. 開発の経緯を教えてください。

平成23年5月に東京書籍様よりデジタル教科書試作開発の依頼を受けたのが始まりです。当時、岐阜県が推進するスマートフォンプロジェクトの中核であった「モバイルコア」をDSKが運営しており、その時に相談を受け、『新編化学基礎』の試作開発を行いました。モバイルノウハウを活用したこの試作開発が高評価を得て他教科に拡大し、最終的に合計9科目のデジタル教科書アプリを開発するに至りました。



### Q2. 開発のポイントは？ どんなところを工夫されたのでしょうか。

文字を読むだけでなく、動画やグラフなど様々な情報を使った学習ができるように工夫しました。理科実験などの映像だけでなく、工場見学もこの教科書で疑似体験することができます。

ポイントはこれら大量のコンテンツをどうやって組み込むのか？という点です。他に例のない開発でしたので、試行錯誤を繰り返しながら調整を繰り返しました。解決手段としてHTML5\*を使ったアニメーション技術、クラウドサービスの活用といった最新技術を積極的に採用しています。

\*HTML5・・・Webページの記述に使用される言語HTMLの第5版

### Q3. 今後の展開について聞かせてください。

今年度、このアプリを使い岐阜県内の高校で実証実験を行う予定になっています。ほかには教職員向けのIT研修での電子教科書の紹介／体験会を予定しています。先生方からの意見は開発する上で非常に重要なので、様々なアイデアや意見を頂戴し、改良を進めたいと考えています。

また、このような活動はメディアに取り上げられやすいテーマなので、すでにいくつかの新聞に記事として取り上げられましたが、今後も広く情報を発信することで一般の方にも興味を持ってもらい、体験していただければと考えています。





快適で、安心のできる  
医療システムを目指して

## 歯科医院様の経営管理を強力に サポートする新『デンタルクイーンV』

### ■ 導入の経緯

『デンタルクイーンV』は開発の過程において設計とプロトタイプング(仮組みのプログラム)を繰り返して開発していく手法をとりました。さらに、よりユーザーニーズを反映するために、特定地域にて先行販売を開始し、ユーザーからの声をもとに機能のブラッシュアップを進めました。木方歯科医院様には、パイロットユーザーとして、開発過程からご協力いただき、現在も様々なアドバイスを頂戴しております。

### ▶ 木方歯科医院様からのコメント

カルテを作るソフトは他の業種で使われるソフトとやや違うところがあります。それは、人の病が計算どおりにはいかないところにあります。診療する際には診断数値が必要ですが、それ以外に医者「カン」も重要な要素となっています。カルテコンの善し悪しはこの「カン」をいかに手助けしてくれるかにあります。『デンタルクイーンV』の優れた点は、カルテ記載のカスタマイズが簡単にできるので、診療の補助はもちろん、次の治療をコンピュータと一緒に思考できるところにあります。

もう一つは、『デンタルクイーンV』の営業体制です。日進月歩の歯科医療では、それに合わせてリニューアルしていく姿勢とそのサポート体制が重要です。「完成したコンディションを保つためのメンテナンス」という考え方にカルテコンはそぐわないのです。その点でも『デンタルクイーンV』は、わがままなユーザーの意見をよく反映してくれるので、さらなる使いやすさに期待しているところです。

～ 木方歯科医院様について～

木方歯科医院様は、岐阜県岐阜市で長年開業され、歯科医師会の仕事を通して地域医療に貢献されています。

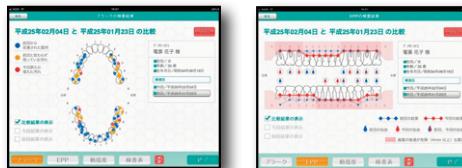
『受付から診療、会計、レセプト』に至る  
一元管理を可能とする歯科医院様向けのシステム



### ■ デンタルクイーンVの特徴

当社グループの歯科医向けソフトの新バージョン『デンタルクイーンV』の特徴は、自社開発による融通性と低価格にあります。さらに、オプションであるデジタルレントゲンとの連携などの高機能も追加され、一段と使いやすくなっています。

### < iPadによる歯周病検査システム >



### < デンタルクイーンVのカルテ入力画面 >





# 会社概要及び株式情報 (平成25年6月30日現在)

## ■ 会社概要

商号	株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	昭和42年3月14日
資本金	10億5,679万円
従業員	連結682名(単体572名)
事業内容	情報処理サービス、システムソリューション システムインテグレーション、商品販売 収納代行サービス
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数(普通株式)	14,880,000株
発行済株式の総数(普通株式)	4,721,700株
株主数	3,541名

## ■ 大株主

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
電算システム従業員持株会	472,828	10.01
ヒロタ株式会社	445,050	9.42
宮地 正直	200,035	4.23
株式会社十六銀行	185,950	3.93
三井情報株式会社	185,000	3.91
株式会社大垣共立銀行	179,950	3.81
岐阜信用金庫	179,950	3.81
有限会社福田製作所	125,000	2.64
内木 一博	106,335	2.25
株式会社トーカイ	103,590	2.19

※順位において自己株式 127,392株を除いております。

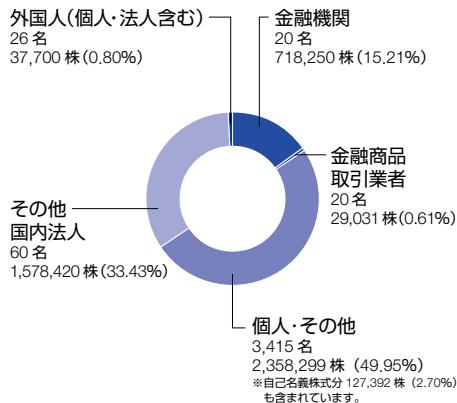
## ■ 取締役及び監査役

代表取締役会長執行役員 CEO	宮地 正直
代表取締役社長執行役員 COO	田中 靖哲
常務取締役執行役員	小林 領司
取締役執行役員	田口 仁
取締役執行役員	浅野 有一
取締役執行役員	加藤 徹
取締役	廣田 孝昭
取締役	竹中 正美
監査役	澤邊 茂美
監査役	富坂 博
監査役	野田 勇司

(注)

- CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
- COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
- 廣田孝昭、竹中正美の両氏は、社外取締役(非常勤)であります。
- 富坂 博、野田勇司の両氏は、社外監査役(非常勤)であります。

## ■ 所有者別株式分布状況



当社をより深くご理解いただくために、

当社が取り組んでいる諸活動の内容やトピックスをご紹介します。

## TOPICS

### TOPICS

## 01 平成25年12月期 株主優待の内容が決定いたしました

3,000円相当の商品を進呈！  
下記①～⑥の中から1つお選びいただけます

- ① 飛騨メロン
- ② キッチン飛騨手作り  
ハム・ソーセージ詰め合わせ
- ③ 米 <龍の瞳(飛騨)>
- ④ 飛騨高山らーめんセット
- ⑤ 飛騨地酒
- ⑥ 当社オリジナルQUOカード

**対象:**12月31日時点の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上ご所有の株主さまを対象といたします。

**発送:**平成26年5月下旬からの発送を予定しております。



### TOPICS

## 02 会長 宮地が平成25年度岐阜県各界 功労者表彰(産業経済分野)を受賞

岐阜県では、行政、文化・芸術、社会福祉、産業経済などの分野で、岐阜県の発展や県民の福祉の増進に功績のあった方々を表彰することにより、その功績を称え、併せて県民の誇りを高めることを目的として、岐阜県各界功労者表彰を実施しています。今回、「生活、生産基盤の整備及び産業経済の発展振興に尽力したもの」として、会長 宮地正直が受賞いたしました。



古田岐阜県知事より表彰状を授与される宮地会長



受賞者に贈られた表彰状と楯

### TOPICS

## 03 岐阜県情報産業協会会長に 会長 宮地を再任



平成25年6月24日、一般社団法人岐阜県情報産業協会は、通常総会を岐阜市内のホテルで開催し、役員改選で当会 宮地正直を会長に再任しました。

岐阜新聞  
平成25年6月25日付掲載

## IRサイトのご紹介

個人投資家向けIRサイトを設置しております。  
ぜひ、ご活用ください。

IR情報 URL

<http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 <a href="http://www.densan-s.co.jp/">http://www.densan-s.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 個人投資家向けIRイベント

個人投資家の皆さまを対象に、当社への理解促進と個人株主層の拡大を目指して会社説明会を実施しています。



### 平成25年 参加実績

平成25年5月	日本証券新聞社主催 <b>大阪</b> 個人投資家向け説明会
平成25年7月	名古屋証券取引所主催 <b>名古屋</b> 名証IRエキスポ2013

### 今後の参加予定

平成25年8月	日本経済新聞社主催 <b>東京</b> 日経IRフェア2013
平成25年9月	名古屋証券取引所主催 <b>名古屋</b> 株式投資サマーセミナー
平成25年12月	大和インベスター・リレーションズ主催 <b>福岡</b> 個人投資家向け説明会

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

#### ●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ●配当金計算書について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましては、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。